

DNS Summer Day 2021 Online

TACHIBANA toshio
DNSOPS.JP/GREE, Inc.

DNS Summer Day 2021

開催趣旨

DNSはインターネットにおける重要な基盤技術の一つです。そのため、DNSの安定運用がインターネット安定運用にそのまま直結します。

DNSはグローバルCDNのシグナリングや、証明書の健全性の検証に必要な情報の提示に用いられたりするようになり、
情報通信インフラの安全性・健全性を支える重要な機能を実現するための役割を担わされる一方で
DNSに干渉することにより様々な目的を実現しようという動きも起きています。

グローバルにサービスを提供する事業者によるパブリックDNSサービスが、権威側、リゾルバ側を問わず
ブラックボックス的に使われる場面も当たり前の状況となりつつあります。

このように、DNSは多くの重要な役割を持つ、代替となるものがないインフラサービスとなっています。

一方で、DNSの運用については権威側にもリゾルバ側にも十分な関心が払われておらず、
必要な予算や人材などもきちんと割り当てられているとは言えない状況が相変わらず継続しています。

このようなDNSの状況に鑑みて、DNSOPS.JPでは今年も引き続き DNS Summer Day を開催することといたしました。

ただ、今般の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止に伴う状況が予断を許さないことから、
オンラインで開催することといたします。

DNS Summer Day 2021

名称

- DNS Summer Day 2021

主催

- 日本DNSオペレーターズグループ(DNSOPS.JP)

日時

- 2021年6月25日 (金) 10:00-17:45

会場

- Zoom Webinar

協賛(申し込み順)

- 株式会社XACK
- PIPELINE株式会社
- アカマイ・テクノロジーズ合同会社
- 株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
- 株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)
- Allot Communications Japan株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社Fusic

参加費

- 無料

プログラム

時間	タイトル	発表者	所属	資料
10:00-10:05	開会宣言	石田 慶樹	日本DNSオペレーターズグループ代表幹事	
10:05-11:05	権威DNSサービスの調査結果共有	米谷 嘉朗 岡田 雅之 古賀 太雅	日本DNSオペレーターズグループ 長崎県立大学 長崎県立大学	資料 資料
スポンサーセッション その1				
11:05-11:20	frAAAt オンライン展示会をシンプルに	安河内 舜	株式会社Fusic	資料
11:20-11:35	DNSインフラの保護とDNSを利用したセキュリティサービス	堀江 衛	Allot Communications Japan株式会社	資料
11:35-11:50	XACK meets DNSSEC	蜂巢 一輝	株式会社XACK	資料
11:50-13:00	昼食休憩			
13:00-13:30	BIND9.11から9.16への移行のポイント	末松 慶文 阿波連 良尚	株式会社QTnet 株式会社日本レジストリサービス(JPRS)	資料 資料
13:30-14:00	フルリゾルバーに実装されているDDoS対策機能の評価	阿波連 良尚 小松 吉基 植松 利亮	株式会社日本レジストリサービス(JPRS) 北海道総合通信網株式会社(HOTnet) 北海道総合通信網株式会社(HOTnet)	資料
14:00-14:15	休憩			
スポンサーセッション その2				
14:15-14:30	DNSなんでも相談室2021(夏) - 怒りのGTM編	其田 学	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)	資料
14:30-14:45	DNS監視技術によりネットワークのパフォーマンスを劇的に改善させた某ISPの導入事例	Allan Watanabe	PIPELINE株式会社	資料
14:45-15:00	JPRSの技術情報発信 (2020年7月~2021年6月)	森下 泰宏	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)	資料
15:00-15:25	休憩			
15:25-16:05	DNSでHTTPS	山口 崇徳	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)	資料
16:05-16:25	CoreDNSで遊んでみた	其田 学	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)	資料
16:25-16:35	休憩			
16:35-16:55	キャッシュDNSのロードバランサーなし構成について	小坂 良太	NTTコミュニケーションズ株式会社	資料
16:55-17:15	Keep my privacy: DNS over HTTPS over CGN or public NAT64	Kazunori Fujiwara	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)	資料
Lightning Talk				
17:15-17:30	All for oneなDNS運用を目指して ~社内横連携をはじめた話~	針山 拓海	ヤフー株式会社	資料
17:30-17:35	閉会宣言	石田 慶樹	日本DNSオペレーターズグループ代表幹事	

2020年との違い

- 会議システムは“Zoom Webinar”で一本化
 - YouTube Live (配信) / Sli.do (Q&A) は利用しない
 - Q&Aポッドを活用
- “frAAAt”を利用する
 - 協賛団体のブース展示
 - 事前参加登録

2020年の詳細はENOG65 Meetingでの発表を参照

<https://enog.jp/archives/2393>

frAAAt

株式会社 Fusic (フュージック) が提供するサービス

- 概要
 - オンライン学会プラットフォーム
 - <https://fusic.co.jp/works/38>
- 主な機能
 - 出展者／ポスターセッション発表者向け展示ブース
 - 参加登録

frAAAt採用の経緯

- あるDNSOPS.JP幹事が別イベント(学会)で本システムを経験したことで、幹事会へ利用可能性について検討を提案
- DNSOPS.JPが求める事が実現可能かをサービス提供会社に相談
 - 仕様の確認
 - 機能の要望
 - サービス提供価格
- イベント運営のための「サービス仕様／提供価格」が妥当であると判断して採用

利用したfrAAAtの機能

- ・ 参加登録
 - 参加者あてメッセージ配信 (DNSOPS.JPから要望した機能)
 - ・ 当日使うZoom WebinarのURLを通知
 - ・ 各種案内の通知 (アンケート等)
 - frAAAtに参加者を集めるため参加登録を一本化
- ・ 展示ブース
 - オンライン会議システムを介した面談への誘導機能
 - 資料の配布機能

frAAAt View (参加者ログイン画面)

日本DNSオペレーターズグループ (DNSOPS.JP) frAAAt

DNS Summer Day 2021

検索

- デモ動画をご覧いただけます
- 資料をダウンロードいただけます
- フリーディスカッション用Webミーティングを開催しています

PIPELINE株式会社

<<DNS監視技術によりネットワークのパフォーマンスを劇的に改善させた某ISPの導入事例>>新たな収益源を獲得し、インシデント対応の自動化やさまざまなビジネスインサイトを引き出すためにデータを有効に活用しませんか？世界がデジタル化されていく中で、多くの企業が「明確に一元化されたデータ戦略」...

株式会社日本レジストリサービス

休憩中にお伝えしております、書籍「DNSがよくわかる教科書」のご紹介動画です。

Allot Communications Japan株式会社

一般ユーザーや中小企業は、マルウェアやフィッシング攻撃からの保護を必要としています。 通信事業者は、クライアントベースのセキュリティソリューションで問題に対処していますが、グローバルの状況として、高い普及率を達成出来ていません。 AllotのDNS Secureは、ネットワークベースのセキュリティ...

SCSK株式会社

近年、通信事業者や企業のDNSがセキュリティ上の弱点や盲点を利用したサイバー攻撃の標的として扱われるケースが増えていきます。また、スマートデバイスやIoTデバイス数の増加に伴い、DNSトラフィックは爆発的に増加しています。Akamai DNSは、独自に開発したコードを使用することで高価...

株式会社XACK

XACKは、ソフトウェア開発を行う技術者集団のための工房（スタジオ）です。開発するアプリケーションやシステムの市場性や顧客満足はもちろん大切ですが、【技術ポリシー】を何よりも重視し、ネットワーク社会に自信を持っておくりだせる「技術的作品」の制作にこだわり、開発の確実と質の向上を日々追求しています...

アカマイ・テクノロジーズ合同会社

アカマイは世界中の企業に安全で快適なデジタル体験を提供しています。アカマイのインテリジェントなエッジプラットフォームは、企業のデータセンターからクラウドプロバイダーのデータセンターまで広範囲に展開し、企業とそのビジネスを高速、スマート、そしてセキュアなものにします。マルチクラウドアーキテクチャの...

株式会社インターネットイニシアティブ

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) は、1992年、日本企業として初めての商用インターネットサービスプロバイダとして設立されました。現在では、IIJグループとして約1,000社の法人顧客に対して、インターネット接続、モバイル接続 (フルMNW)、アクティベーションサービス、WANサービス、...

株式会社Fusic

frAAAtはオンライン展示会を手軽に開催できるサービスです。利用料は10万円からとなっています。シンプルなUI/UXや、コミュニケーションを促進させる数々の機能により、参加者にも出展者にも満足度の高い展示会をご提供することが可能です。

8件中1~8件を表示

frAAAt View (管理画面)

DNS Summer Day 2021
admin ▾

目 企業管理

参加者一覧

メール管理

タグ一覧

企業一覧

名称

[検索](#)

ログイン情報一括通知
[新規登録](#)
[CSVインポート](#)

名種	状態	ログイン情報通知	初回ログイン	操作
株式会社XACK	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
PIPELINE株式会社	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
アカマイ・テクノロジーズ合同会社	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
株式会社日本レジストリサービス	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
株式会社インターネットイニシアティブ	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
Allot Communications Japan株式会社	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
SCSK株式会社	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知
株式会社Fusic	有効	済	済	編集 詳細 ログイン情報再通知

8件中1～8件を表示

frAAAt View (管理者メール管理)

DNS Summer Day 2021
admin ▾

- 🏠 企業管理
- 👤 参加者一覧
- ✉ メール管理
- 🏷️ タグ一覧

一括メール送信

新規作成

送信日時	タイトル	操作
2021/06/25 17:24	【DNS Summer Day 2021】 アンケートと権威DNS調査フォーム入力のご協力をお願い	詳細
2021/06/25 9:46	【DNS Summer Day 2021】 開催当日となりました	詳細
2021/06/24 17:02	【DNS Summer Day 2021】 Zoom Webinar情報の再連絡と資料公開	詳細
2021/06/23 13:04	【DNS Summer Day 2021】 Zoom Webinar情報のご連絡	詳細

2020年と変わらない点

- ・ 協賛特典の提供
 - スポンサーセッションの実施
 - 休憩時間中の広告の表示
- ・ 懇親会
 - 実施しない

準備

- ・ 発表リハーサル
 - 音声、画面共有の確認
 - 当日発表に使うPCおよびネットワークからの参加を要請
 - リハーサル時に操作や進行上の注意点等をお知らせ
 - 発表者はZoom Webinarのパネリスト権限にて参加

全発表者が参加、一人あたり5～10分くらい

準備

- ・ 広告配信
 - 広告動画の素材提供を依頼
 - 一社あたり15秒程度

集まった素材に注意事項等を組み込んで編集し、ループ再生可能な動画を作成

Zoom Webinar 注意点

- ・ 参加権限の違い
 - 「パネリスト」と「参加者」
 - 「パネリスト」はQ&Aポッドに記入できない
 - ・ 質問したい人は「参加者」で接続する必要がある
 - ・ 発表者も参加者として登録し、複数の権限で接続できるようにする
 - ・ 発表するときだけ「パネリスト」で接続してもらうよう案内

苦労した点（準備編）

- ・ 会議システム
 - 2020年の経験のおかげで大きな苦労はなかった
 - Zoom Webinarに一本化したのは大きい
 - ・ frAAAt
 - 利用に際して「個人情報取扱ポリシー」が必要
 - ・ 作成した
 - <https://dnsops.jp/personal-information-policy.html>
- 色々参考にしたり協力をもらうことで準備できた
結構大変でした

苦労した点（当日編）

- ・ Q&Aポッドの運用
 - セッション毎にQ&Aを整理して進めるのが結構手間
 - ・ Qを選択しての一括削除機能がない
 - 回答を済ませたものとそうでないものの表示のされ方の違い
 - ・ 参加者からの見え方への配慮が難しい

今後に向けて

- ・ 広告素材
 - 2020年と同様に提供形態はさまざま
 - 音声レベルの調整はそこそこうまくいったが、そもそも休憩中に音声流しても参加者がミュートしてしまっている可能性があるので静止画のスライドショー形式にした方が良くかも
- ・ ハイブリッド開催
 - 昨今の情勢を考えると、イベントはオンサイト／オンラインの両方で参加可能にすることが基本になることを前提に準備や各種検討が必要
 - ・ 機材／ツールを引き続き検討

雑感

会議は発表者／参加者がオンライン慣れしてきたことに助けられて結構スムーズに運営できた

オンライン展示ブースは初めての試みだったので協賛団体の皆様に良い場所として提供できたかは結構微妙。

運営側自身も展示を出して、参加者を巻き込んでいくための工夫をしなければいけないと感じた

コミュニティの活動場所を維持するために引き続き考えていく

final word

たのしかった！次もやるぞ！
(1年ぶり2回目)